

甲斐たかゆきの市議会だより「えがお」号外・2021年7月発行



みなさん、こんにちは。久々の号外の発行となりました。ご無沙汰しています。いかがお過ごしでいらっしゃいますか。これからの日々、暑くなっていきますので、マスクや手洗いなどの感染症対策に加え、こまめな水分補給を心がけ、熱中症や夏バテにも十分にお気をつけください。

さて、県内では新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたとして、4段階のステージが「1」（散発的発生）へと引き下げられました

た(6/28段階)。しかし、全国でデルタ株の感染報告が増加しているため、引き続き警戒と対策が必要であり、不安な日々となっているのではないのでしょうか。まだまだ「コロナ禍」ではありますが、少しでも安心安全な生活となるよう、みなさまの笑顔につながる活動を継続していきます。今後ともみなさまの声をお聞かせください。

大分市では、希望される方へのワクチン接種ができるだけ早期に行われるように、かかりつけ医による個別接種と接種センターなどによる集団接種との併用によりを実施しています。これまでに寄せられた声を反映して、コールセンターの回線の増設、接種会場ごとの予約枠の拡大や新たな会場の開設なども行ってきました。今後も接種を希望される方が、少しでもスムーズな予約と落ち着いて接種できる環境の整備に向けて意見要望を積み重ねていきます。この件に関しても、ご意見ご要望をお寄せください。

今回の号外では、「えがお18号」には掲載していない内容を中心にまとめました。

【ワクチン接種について】

- ①副反応等について
- ②ワクチン接種の見通し
- ③接種方針で大切にしていること
- ④今後の対応
- ⑤接種を希望しない方へのサポートについて

【福祉保健部長答弁】 (情報部分だけを抜粋しました)

- 7/5頃から16歳以上64歳以下の方への接種券送付予定。(7/1から送付開始)
- 基礎疾患のある60歳から64歳の方については、優先予約期間を設けて受付。
- 高齢者施設等の従事者については、現在接種の意向調査中。その後、接種予定。
- 本人の同意なく接種が行われることはない。接種を受けていない人に差別的な扱いをすることはあってはならない(今後もこのことを周知徹底していく)。

【甲斐の思い】 接種を促進することの大切さはわかりますが、痛みや発熱といった副反応への不安があるのも事実。重いアレルギー反応のアナフィラキシーも心配されていますので、これらの不安に寄り添い、必要な情報の公開と丁寧な対応を改めて要望。また16才以上となっている接種の対象を決して引き下げることのないように強く意見(今後、仮に対象年齢が下がったとしても学校での集団接種ではなく、保護者同伴での個別接種が大前提、もちろん希望制)。地域で接種予約のサポートをしている方々の事例をあげ、行政も関わっての予約への支援策を提案し要望を付け加えました。

【中判田駅周辺整備について】

〔甲斐の思い〕 **さまざまな整備が連動してこそ有効に機能すると思います。**

- ①国道 10 号の判田郵便局交差点から駅方面への進入路の拡幅。
- ②中判田駅前の再整備としての駅前のロータリー化。
- ③中判田駅隣接の広い駐車場を活用した「パークアンドライド」の拠点駅に。
- ④駅舎の老朽化。改築や移転なども含めて、更なる駅のバリアフリー化。
- ⑤大南地区スポーツ施設への判田校区側からのアクセス道路の新設(防災上も必要)。
- ⑥大分南校生が登下校で利用している河川沿いの堤防道路や踏切の安全対策。
- ⑦国道 10 号高江拡幅工事中に生活道路の渋滞が懸念される。代替道路の確保を。

上記のようなことも含めて、議論していくことが必要だと感じています。そこで、現在進行中の地元の方々と大分市の関係部局が参加しての「勉強会」が、今後とも継続していくことを願い質問に取り上げ、「引き続き勉強会を継続」という答弁を引き出せたことは、大きな成果でした。この「勉強会」などでの活発な論議を後方支援していきます。

☆高江大橋での歩道への防護柵設置の状況について！

昨年も「えがお号外」で紹介しました「未就学児等交通安全対策事業」として、本年度は、画像のように手前側で防護柵の設置が行われています。画像左奥にある防護柵のように高江大橋上の歩道長さ分すべてに設置予定(資材が届き次第、残りの部分も設置されます)。同様な安全対策がその場所の状態や要望状況に応じて、2023 年度末までに大分市内であと 14 箇所対応予定です。これからも安心・安全の向上ために事業の進捗を見守ります。声をお寄せください。



☆本年度実施される「中判田駅構内スロープ整備」に関して・・・

「えがお 17 号」でお知らせしましたが、中判田駅と坂ノ市駅の構内に踏切やスロープを新設し、ホームへの移動をスムーズに行えるように整備することとなっています。つまり既存の階段を使用しなくても移動が可能になるのです。このスロープ工事に伴い、撤去されるホームにある上屋(屋根)の再設置を要望しています。

☆子どもたちに豊かな教育を保障するために・・・大分市長に要請！



5月17日(月)、大分市長に対して「義務教育費国庫負担率2分の1復元・制度拡充」を要請する活動に同行しました。「コロナ禍」での教育現場の実態と少人数学級の早期実施などの教育課題を認識してもらうとともに、子どもたちに豊かな教育を保障していくための予算確保も含め、要請しました。今後も教育現場で働くすべての教職員と子どもたちの「笑顔」につながることに取り組んでいきます。

これからも「**子どもたちをまんやかに**」。今後ともみなさんのご理解・ご協力をよろしく
お願いいたします。

甲斐たかゆき・連絡先 090-4991-6412